

小学校で自然観察の支援をしています ～小学校自然観察支援ネットワーク（SSN）の紹介～

千葉県自然観察指導員協議会（略称：自然観察ちば）では、「自然観察から始まる自然保護」をめざして県内各地で活動しています。そのうちの重点活動として、会員有志で『小学校自然観察支援ネットワーク（SSN）』を組織し、約100名の指導員が県内各地の小学校に出向き生活科・理科・総合的な学習の時間の授業において自然観察を支援しています。継続して活動している小学校の他にも、幼稚園・保育所・中学校・公民館・緑の少年団での支援、教職員の研修会講師の依頼もあります。

14年目を迎えた2013年には、69件の自然観察を支援しました。



私達にできること、目指すこと

1. 身近な自然を通して、自然の美しさや不思議さ、命のつながりに気づいてもらう。
 - * 自然には何ひとつ無駄なものはないこと
 - * 人間も自然の一部であること
 - * 多様性が大切であること
2. 地域の歴史や文化を易しく伝える。
3. 昔から日本人に受け継がれてきた自然と人との関わりを伝える。
4. 草花あそびなど野外での伝承あそび（子どもの文化）を伝える。

◇◇ SSNの支援活動の流れ ◇◇

■ 小学校から依頼

- ・ 依頼時に確認したい事



- | | | | |
|----------|------------|--------|------|
| ・ 活動のねらい | ・ 実施日（予備日） | ・ 活動時間 | |
| ・ 教科 | ・ 実施場所 | ・ 実施時間 | |
| ・ 学年 | ・ クラス数 | ・ 児童数 | ・ 費用 |

■ 担当者（できるだけ地元の指導員を紹介し）との事前打ち合わせ

- ・ 児童約10人に1名の指導員が付くようにいたします。
- ・ 観察フィールドの下見をします。（身近な校庭や近隣の公園など）



■ 自然観察会（当日）

- ・ 少人数なので児童の発見や質問に、きめ細かく対応しながら観察できます。
- ・ 指導員の声が届き、手元も良く見えるので、興味を持って参加できます。
- ・ ふりかえりの時間に、感想を発表しあい発見や感動を共有します。

SSNのメンバーは、それぞれの得意分野を活かしチームを組んで活動しています。多様性が大切なことは人間の社会でも同じです。いじめという言葉を出さなくても、子どもたちは感じ取ってくれるのではないのでしょうか。自然の中に出かけて、癒されたり、元気をもらったりすることを実感できたら、さまざまな問題を抱えている子どもたちも少しは変われるのではないかと考えています。

第13回日本自然保護協会 沼田眞賞を受賞：

小学校自然観察支援ネットワーク：SSN「学校教育の場における自然観察活動の支援体制の構築」

千葉県自然観察指導員協議会は、2000年に小学校における自然観察活動を支援する「小学校自然観察支援ネットワーク：SSN」を組織し、14年間にわたり毎年3,000～4,500名（のべ50,000名）の児童及び教職員を対象として、理科・生活科・総合学習の授業等において、自然観察活動を実施してきました。また、研修会の実施、マニュアルの作成、実施報告書の作成など、小学校における自然観察指導を支援するための継続的なサポート体制を整えてきました。これらの活動は、自然保護教育活動の模範となるものであり、日本自然保護協会 沼田眞賞の受賞に値すると評価されました。